



株式会社 **ニコン**



ニコンのアジア戦略を支える、ITO運用サービス ～ニコンは何故ITOを利用するのか～

2016/6/3

株式会社ニコン
ITソリューション本部
IT戦略企画部 第二管理課
高村 幸夫

目次



● 目次

1. 自己紹介
2. 会社紹介
3. 本日本日お伝えしたい事
4. ニコンにおけるアジア展開とITガバナンス
5. 導入選定において重視したこと
6. 運用サービス体制およびPDCAサイクル
7. グローバルITOを成功させるには
8. グローバルITO運用サービス導入効果
9. まとめ
10. 日本ユニシスグループ様へのメッセージ

1.自己紹介

- 氏名/年齢：高村 幸夫（タカムラ ユキオ） / 36歳
- 所属：株式会社ニコン
ITソリューション本部 IT戦略企画部 第二管理課
- 一言：ニコンでは2015年1月から日本ユニシスグループ様よりグローバルITアウトソーシング運用サービス(以下 ITO運用サービス)を導入しました。
ニコンにおける取り組みをご紹介させていただき、皆様のヒントになる事が一つでもあれば幸いです。

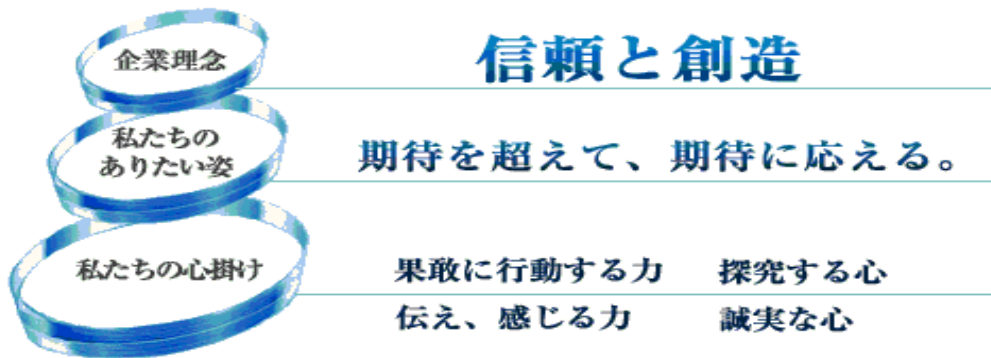
2.会社紹介



2-1. 会社概要

株式会社 ニコン (NIKON CORPORATION)

本社 〒108-6290 東京都港区港南2-15-3 (品川インターシティ C棟)
 代表者 取締役社長 兼 社長執行役員 牛田一雄
 設立 1917年 (大正6年) 7月25日
 資本金 654億円 (2015年3月末現在)
 売上高 連結 8,229億円 / 単独 5,654億円 (2016年3月期)
 従業員数 連結 25,729人 / 単独 5,564人 (2016年3月末現在)



2-2. ニコンの歩み

1917年 日本光学工業株式会社設立
1918年 光学ガラスの製造研究に着手
1945年 終戦・民需用光学機器へ転換

1948年 「ニコン I」発売
1950年 ニューヨーク・タイムズ紙
ニコンカメラ・レンズの
優秀性を世界に紹介
1959年 「ニコン F」発売

1980年 「NSR-1010G」発売
1986年 「NSR-L7501G」発売
1988年 社名を「株式会社ニコン」に変更
1999年 「ニコンD1」発売
2007年 創立90周年
2013年 NIKKORレンズ発売80周年



信頼と創造

期待を超えて、期待に応える。

果敢に行動する力 探究する心
伝え、感じる力 誠実な心

2-3. Nikon Museum



NIKON MUSEUM



東京都港区港南2-15-3
品川インターシティ C棟
本社ビル2階

2-4. セグメント情報 (事業別)

映像事業
5,205億円



デジタル一眼レフカメラ



レンズ交換式
アドバンストカメラ



コンパクトデジタルカメラ



交換レンズ 双眼鏡

精機事業
1,824億円



半導体露光装置



FPD露光装置

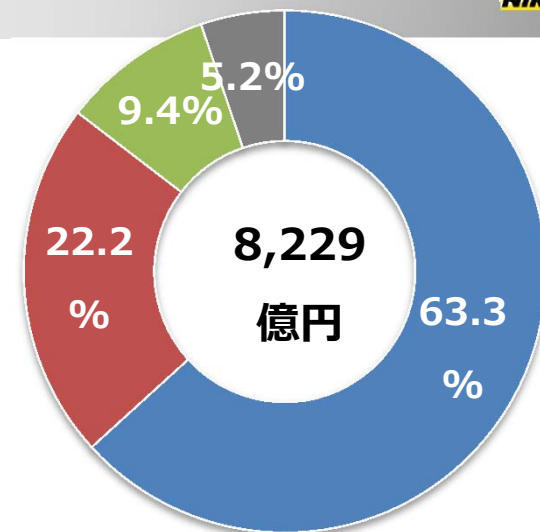
インストルメンツ事業
772億円



生物顕微鏡
工業用顕微鏡



測定機 測量機※
X線/CT検査システム
※ 測量機は(株)コソ・トリプル
(持分法適用会社)



2015 年度連結売上高

その他の事業
428億円※



医療事業
カスタムプロダクツ事業
メガネレンズ事業※²

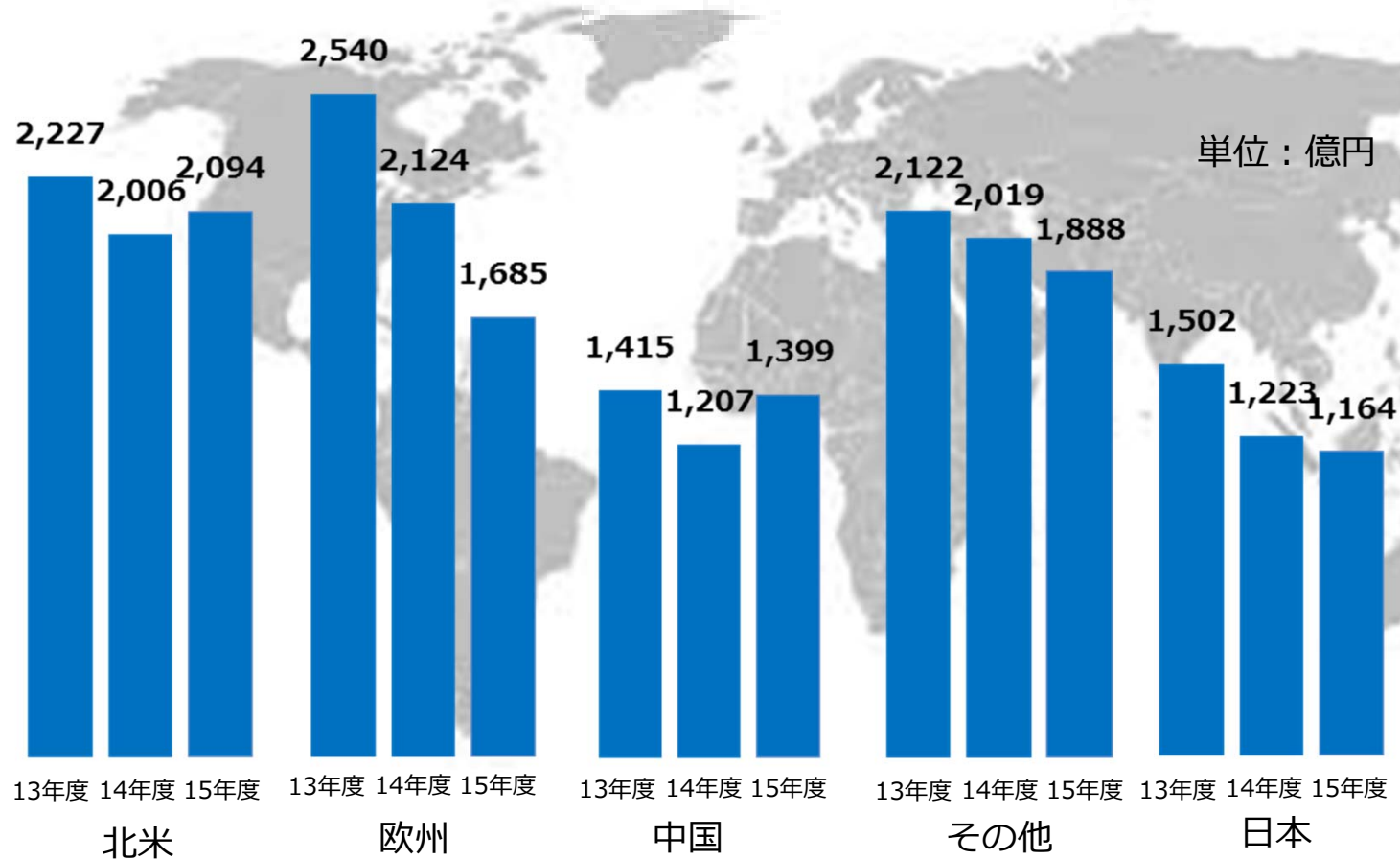


ガラス事業
エンコーダ事業



※ カメラレンズ事業は(株)コソ・インコーポレーション (持分法適用会社)

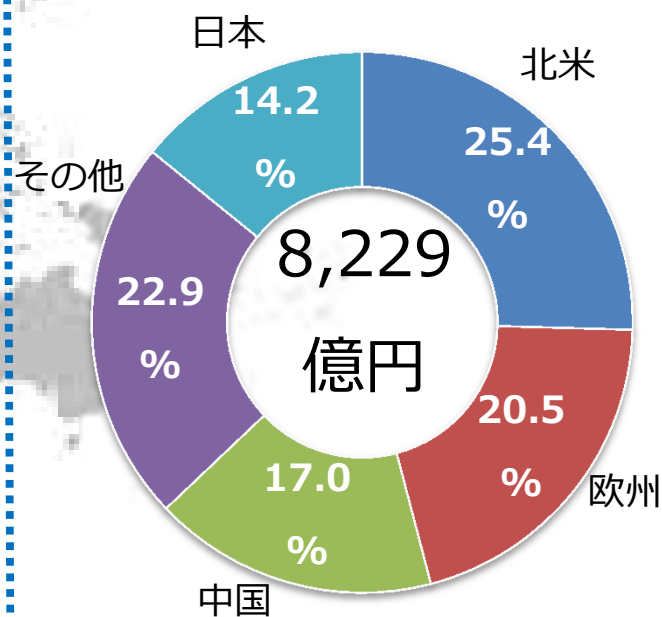
2-5. セグメント情報 (地域別)



地域別売上高の推移

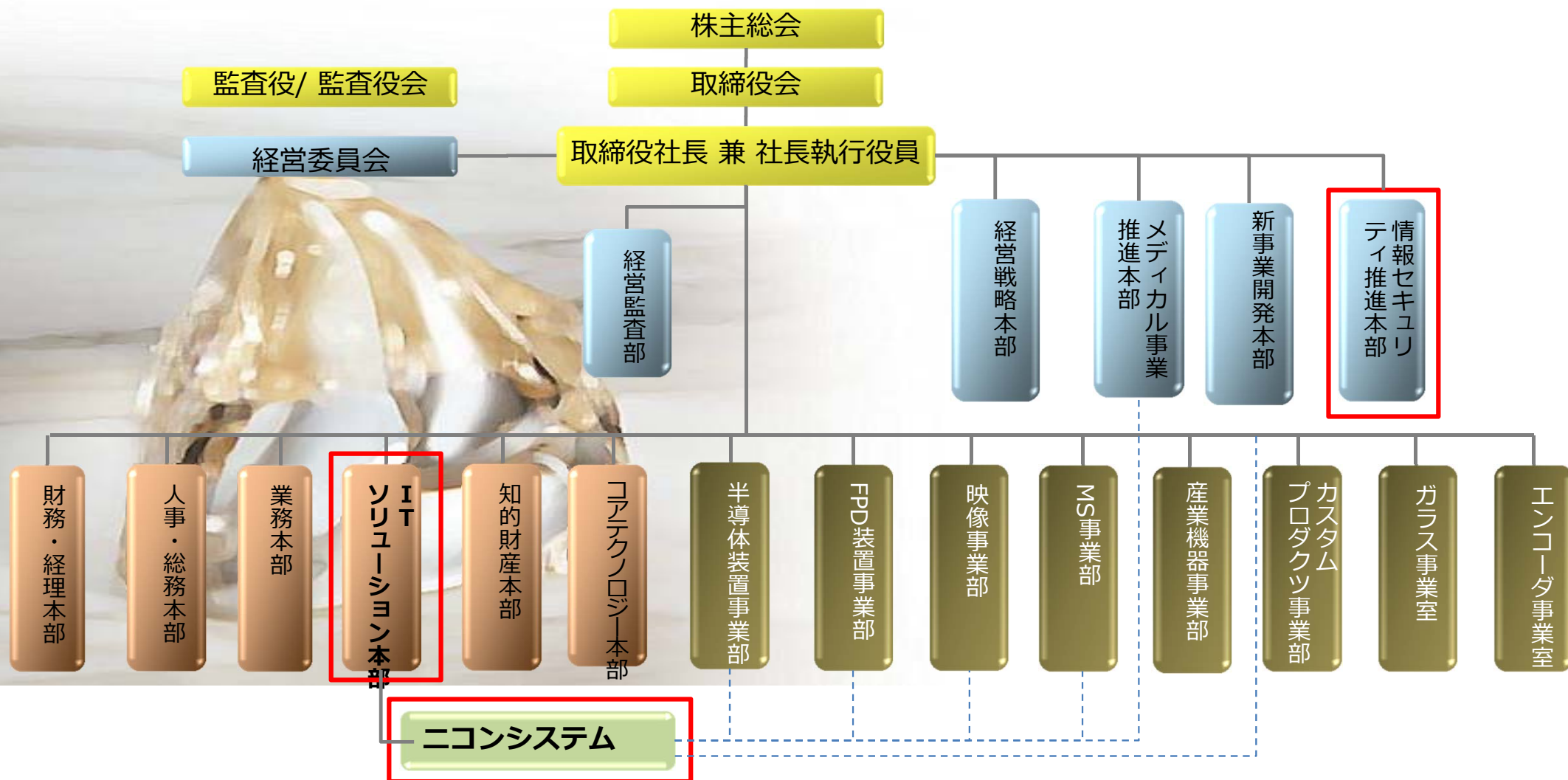
地域別グループ会社数(連結) (2015年3月末日現在)

地域	会社数
国内[(株)ニコンを除く]	16社
欧州	25社
アジア・オセアニア	23社
米州	11社



2015 年度売上率

2-6. 会社全体 組織図



ご清聴ありがとうございました。



NIKON CORPORATION

One Unisys, One Service, One Tool

ニコン様を支えるUnisys corp. と日本ユニシスグループのビジネスエコシステム

BITS 2016

NIHON UNISYS GROUP BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

Foresight in sight

UNISYS

ユニアデックス株式会社
グローバルビジネス部
井上 友二





グローバルITアウトソーシング 運用サービス

Foresight in sight

海外拠点のエンドユーザー向け 運用サービスの提供

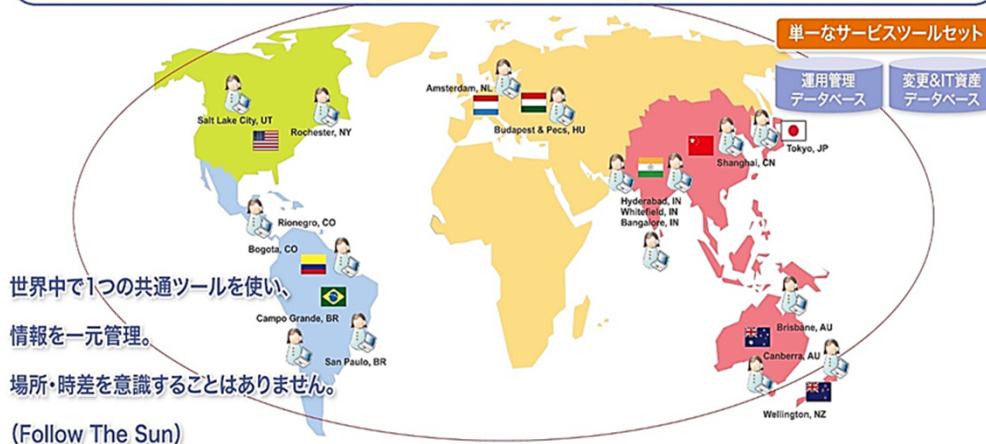
- 「人」に注目した「エンドユーザー向け運用サービス」へ
PCなどの「機器」単位ではなく、「役割」、「職制」に応じたサービスを提供します。
- 各種プロセスの自動化によるコストの最適化を実現
ポータルサイトに、お客様が必要とするサービスメニューを掲載。実行プロセスを自動化します。
- ITILなどの世界標準に基づく高品質なサービスの提供
ITIL/ISOの認証に基づきサービス提供のプロセスを設計。グローバル規模な標準サービスの利用が可能です。

課題と導入メリット

-  **セキュリティリスク**：基盤がバラバラ、未整備、資産情報未整備
⇒世界標準的なソリューションに基づくIT基盤の整備
-  **ITリテラシー**：現地任せのICT運用に限界 ジョブホップ等
⇒標準的な運用プロセスに基づくドキュメントの用意と確実な移行
-  **ITインフラ環境の多様化**：SMACSの進歩へ追従 デジタル化を支援
⇒モバイル、スマートデバイス、クラウド利用等の最新環境へ対応
-  **トラブル時の対応**：ウィルス感染等 事故発生時責任の所在が不明確
⇒プロセスに基づく、リモートとオンサイトによるトラブル対応

グローバル対応

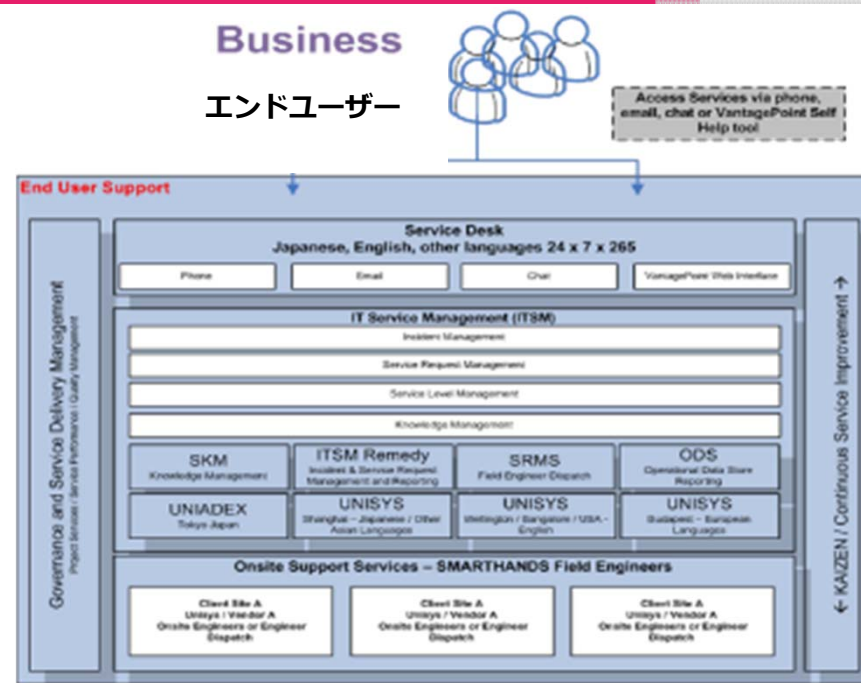
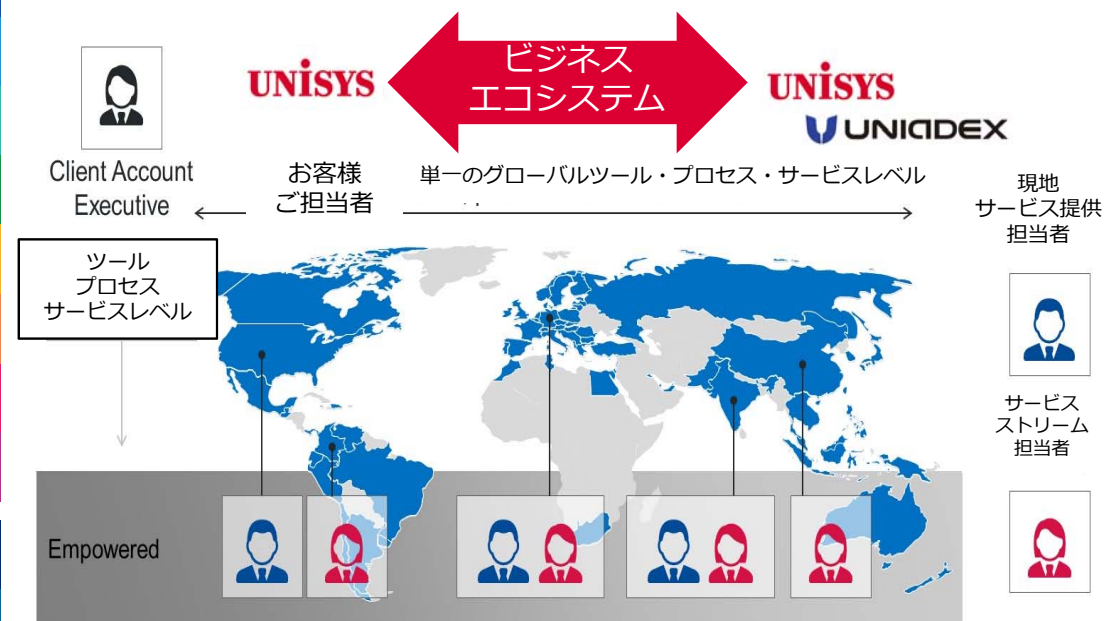
世界中に展開したサービスデスク(15拠点、20言語、24時間対応のサービス提供体制)



100を超える国々で実現するフィールドサービスと、15拠点20を超える言語によるサービスデスクの機能を利用。全サービスライフサイクルにおいて、ITILに基づく世界標準の運用サービスを、アジアから欧米に至るグローバルマーケットにて挑戦を続ける貴社へお届けします。

One Unisys One service One tool

Foresight in sight



- Unisys Corporationと日本ユニシス・ユニアドックスは半世紀以上にわたり、**ビジネスエコシステム**によるグローバル規模のITサポートサービスをグローバル企業に提供し続けております。
- 昨今ではIT運用プロセスを統一および簡素化し、共有ITSMツールを利用する事で、**One Unisys, One Service, One toll**によるシームレスなITアウトソーシング運用サービスを提供しています。
- 日本国内に向けたサービス提供は、ユニアドックスが主幹します。

グローバルITアウトソーシング運用サービス に関するお問い合わせは。

www.uniadex.co.jp/

ユニアドックス グローバルITO

検索



■ コーポレートステートメント

Foresight in sight

先見性でいち早くキャッチしたお客様や社会の課題を、
経験や常識にとらわれない洞察力で深く理解し、
知恵や発想、ICTを組み合わせ、
お客様に最もふさわしい形のソリューションやサービス、
そして業界を越えたビジネスエコシステムをつくり出そう。

BITS 2016

NIHON UNISYS GROUP BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

Foresight in sight

UNISYS